

あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」への転換（資料4）

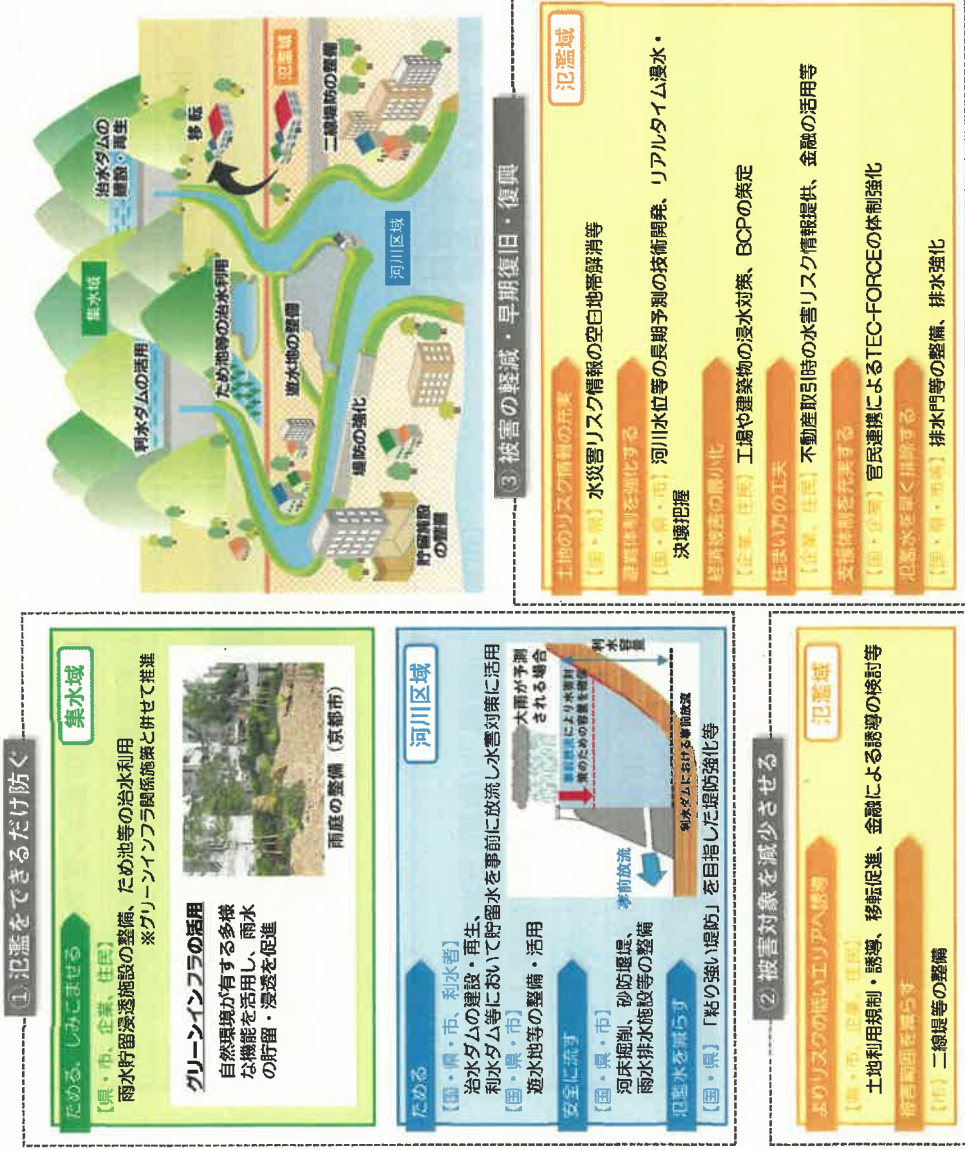
✓ 気候変動による水災害リスクの増大に備えるためには、これまでの河川管理者等の取組に加えて、流域に関わる関係者が、主体的に取り組む社会を構築する必要。

✓ 「流域治水」の考え方に基づき、堤防整備、ダム建設・再生などの対策をより一層加速するとともに、集水域から氾濫域にわたる流域のあらゆる関係者※で水災害対策を推進。 ※国・都道府県・市町村・企業・住民等

「流域治水」への転換

あらゆる関係者（国・都道府県・市町村・企業・住民等）により、地域の特性に応じ、①～③に示す対策を総合的かつ多層的に推進し、「流域治水」へ転換

◀ これらの取組を円滑に進めるため、河川関連法制の見直しなど必要な施策を速やかに措置 ▶

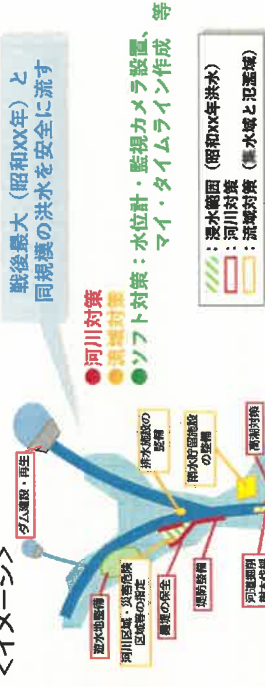


流域治水プロジェクト

- 令和元年東日本台風で甚大な被害を受けた7水系の「緊急治水対策プロジェクト」と同様、全国の1級水系において、河川対策、流域対策、ソフト対策からなる流域治水の全体像をとりまとめ、国民にわかりやすく提示
- 戦後最大洪水に対応する国管理河川の対策の必要性・効果・実施内容※等をベースに、夏頃までに関係者が実施する取組を地域で中間的にとりまとめ、早急に実施すべき流域治水プロジェクトを策定◀令和2年度中に策定▶

※現行計画では、国管理河川で約7兆円の事業を実施中

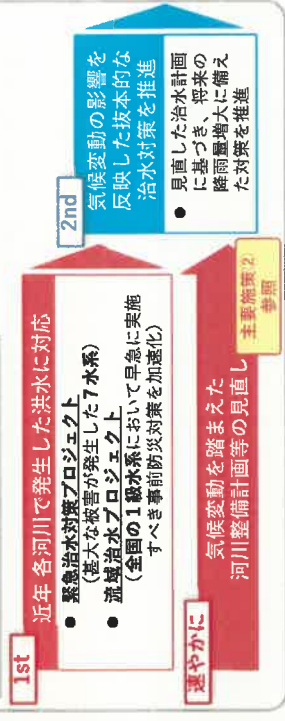
＜イメージ＞



利水ダムの治水活用

- 全国の1級水系（ダムがある99水系）毎に事前放流等を含む治水協定を締結し、新たな運用を開始◀令和2年出水期から▶
- 2級水系についても同様の取組を順次展開

今後の水害対策の進め方



□：想定される対策実施主体 県：都道府県 市：市町村

「流域治水プロジェクト」の策定・公表スケジュール

幹事会6月3日(済)



協議会8月12日(済)



策定・公表9月(済)

水系名(県管理:二級河川)		関連市町村(市町村管理:準用河川)	
①	屋部川水系(屋部川、西屋部川)	名護市	
②	比謝川水系(比謝川、与那原川)	沖繩市、うるま市、読谷村、嘉手納町	
③	小波津川水系(小波津川)	西原町	
④	国場川水系(国場川、饒波川、長堂川)	那覇市、糸満市、豊見城市、南城市、西原町、与那原町、八重瀬町 南風原町(安里又川、手登根川、宮平川、長堂川)	

幹事会12月23日(済)



協議会1月21日(本日)



策定・公表3月(予定)

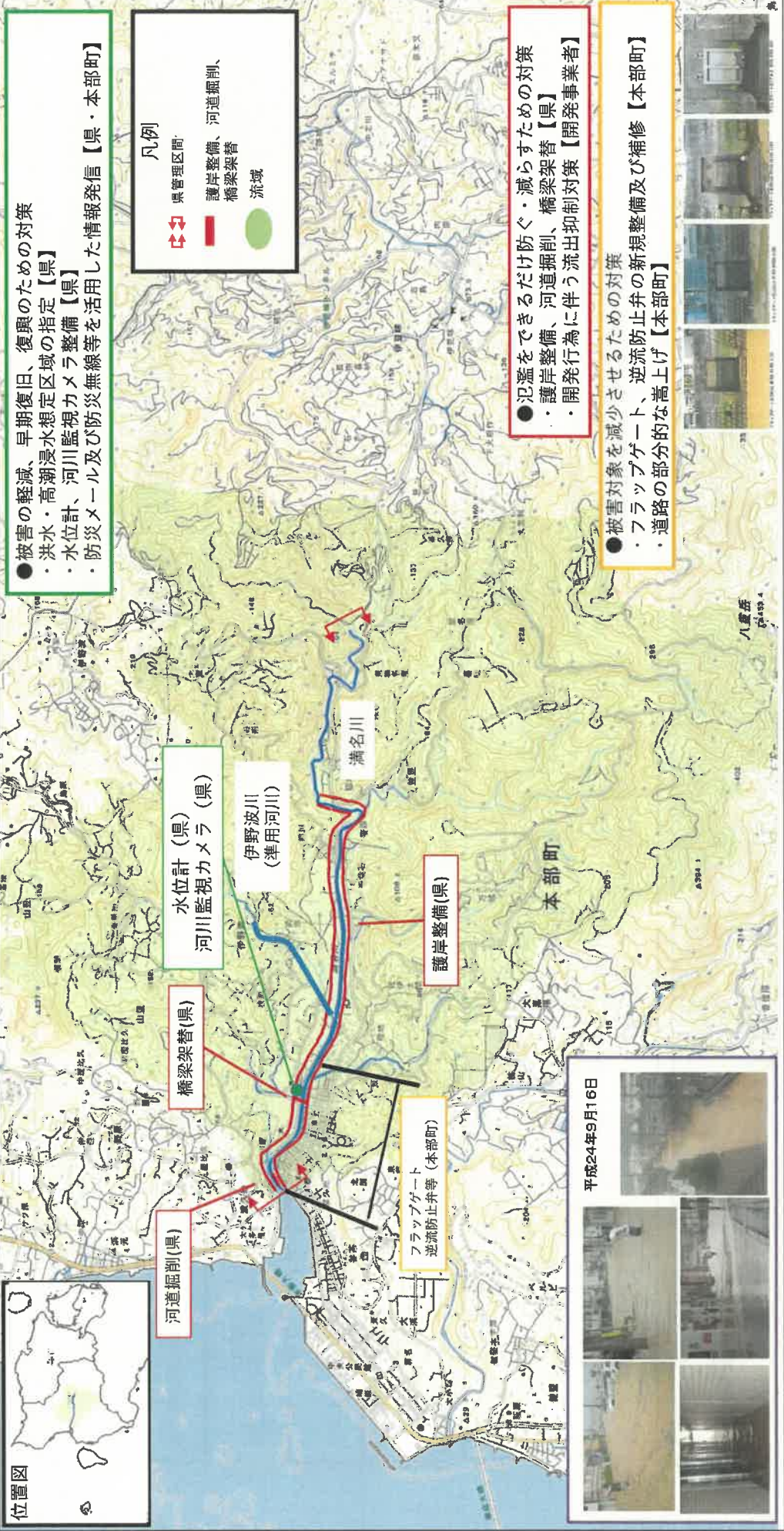
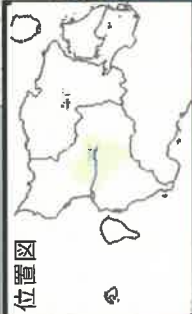
水系名(県管理:二級河川)		関連市町村(市町村管理:準用河川)	
⑤	満名川水系(満名川)	本部町(伊野波川)	
⑥	我部祖河川水系(我部祖河川)	名護市	
⑦	大保川水系(大保川)	大宜味村	
⑧	徳首川水系(徳首川、幸地川)	恩納村、金武町	
⑨	天願川水系(天願川、川崎川)	沖繩市、うるま市(ヌーリ川、川崎川、米原川)	
⑩	白比川水系(白比川)	北谷町	
⑪	安謝川水系(安謝川)	那覇市、浦添市	
⑫	安里川水系(潮渡川、久茂地川、真嘉比川、安里川)	那覇市、南風原町	
⑬	報得川水系(報得川)	糸満市、南城市、八重瀬町	
⑭	謝名堂川水系(謝名堂川)	久米島町	
⑮	田原川水系(田原川)	与那国町	

満名川水系流域治水プロジェクト (案)

二級水系
流域治水プロジェクト

○満名川は、沖縄本島北部の本部町に位置し、下流部には、町役場、小中学校、郵便局等の公共施設が集中している。平成24年9月の台風16号においては、床上・床下の浸水被害が発生しているため、整備区間の計画洪水規模の出水に対する河川整備や避難のためのソフト対策等に取り組み、流域における浸水被害の軽減を図る。

位置図



●被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
 ・洪水・高潮浸水想定区域の指定【県】
 ・水位計、河川監視カメラ整備【県】
 ・防災メール及び防災無線等を活用した情報発信【県・本部町】

凡例

 県管理区間
 護岸整備、河道掘削、橋梁架替
 流域

●氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
 ・護岸整備、河道掘削、橋梁架替【県】
 ・開発行為に伴う流出抑制対策【開発事業者】

●被害対象を減少させるための対策
 ・フラップゲート、逆流防止弁の新規整備及び補修【本部町】
 ・道路の部分的な高上げ【本部町】



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

二級水系
流域治水プロジェクト

満名川水系流域治水プロジェクト
【ロードマップ・効果】（案）

沖縄県

満名川では、上下流の流域全体を俯瞰し、県、町、住民や民間企業等が一体となって、「流域治水」を推進する。
【短期・中期】 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策では、護岸整備や河道掘削、橋梁架替等の河川改修を集中的に実施。被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では、フラップゲート、逆流防止弁の新規整備及び補修、道路の部分的な高上げを行うほか、水位計、河川監視カメラ整備による防災体制の強化を図る。

【中長期】 河川改修後の河道状況を把握し堆積土砂除去を行うなど、各施設において適切な維持管理を実施。
 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では毎年フォローアップを実施し、防災体制の改善・強化に繋げていく。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期（概ね5年間）	中期（概ね10～15年間）	中長期（概ね20～30年間）
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	・護岸整備、河道掘削、橋梁架替	県			
被害対象を減少させるための対策	・フラップゲート、逆流防止弁の新規整備及び補修 ・道路の部分的な高上げ	本部町			
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策	・水位計、河川監視カメラ整備 ・洪水・高潮浸水想定区域の指定	県			
	・防災メーラー及び防災無線等を活用した情報発信	県、本部町			

満名川水系
流域治水プロジェクト

【凡例】



破線：事業中、取組中



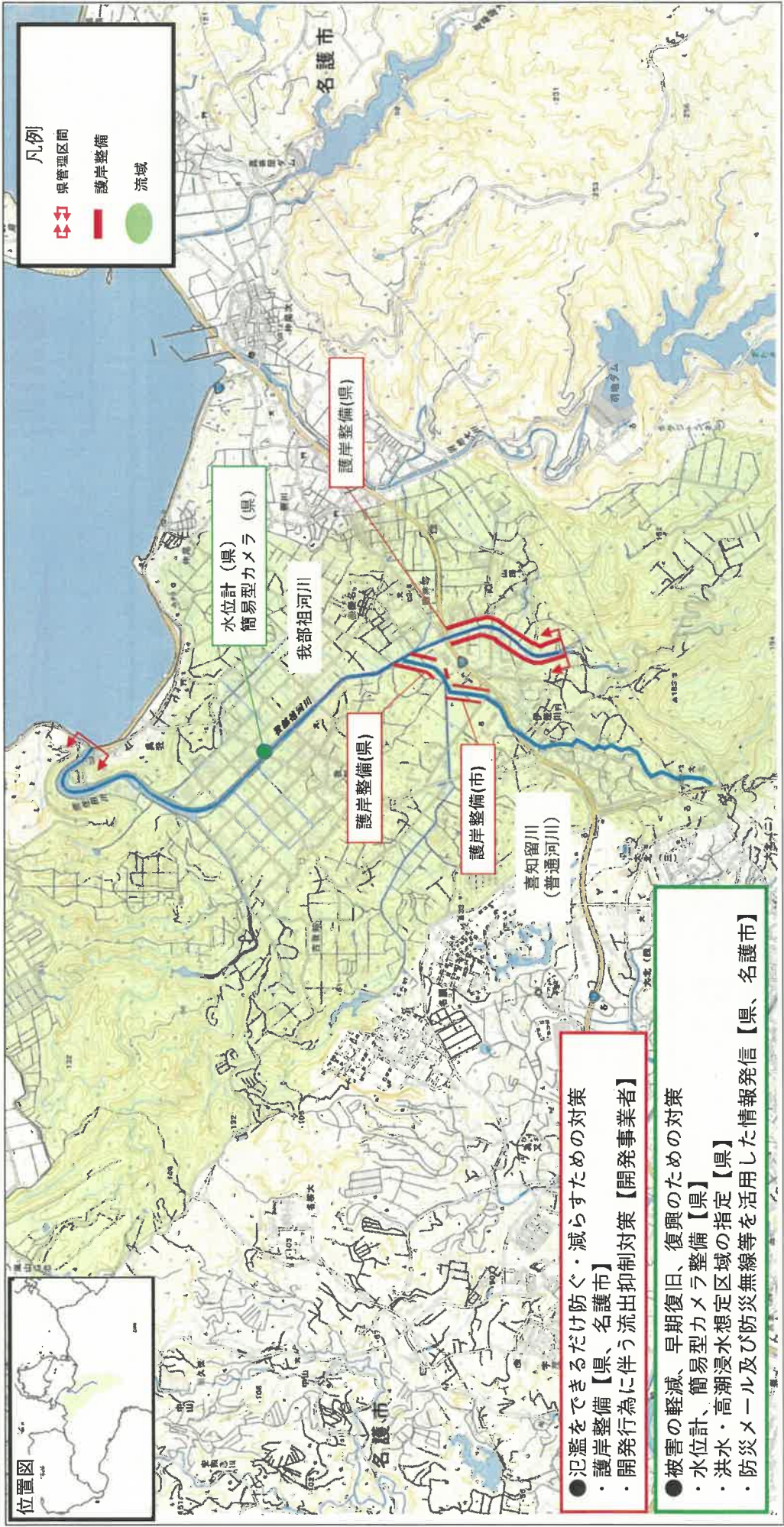
実線：維持管理、フォローアップ等

浸水被害軽減・逃げ遅れゼロ

我部祖河川水系流域治水プロジェクト(案)

二級水系
流域治水プロジェクト

○我部祖河川は、沖繩本島北部の名護市に位置し、平成26年7月の台風8号においては、名護市我部祖河川地区で、農地や道路の冠水や床上の浸水被害が発生しているため、整備区間の計画洪水規模の出水に対する河川整備や避難のためのソフト対策等に取り組み、流域における浸水被害の軽減を図る。



二級水系
流域治水プロジェクト

我部祖河川水系流域治水プロジェクト
【ロードマップ・効果】（案）

沖縄県

我部祖河川では、上下流の流域全体を俯瞰し、県、市、住民や民間企業等が一体となって、「流域治水」を推進する。

【短期・中期】 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策では、護岸整備の河川改修を集中的に実施。
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では、水位計、簡易型カメラの整備するほか、防災メール及び防災無線等を活用した
情報発信による防災体制の強化を図る。

【中長期】 河川改修後の河道状況を把握し堆積土砂除去を行うなど、各施設において適切な維持管理を実施。
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では毎年フォローアップを実施し、防災体制の改善・強化に繋げていく。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期（概ね5年間）	中期（概ね10～15年間）	中長期（概ね20～30年間）
氾濫をできるだけ防 ぐ・減らすための対策	・護岸整備	県、名護市			
被害の軽減、早期復旧、 復興のための対策	・水位計、簡易型カメラ整備 ・洪水・高潮浸水想定区域の指定 ・防災メール及び防災無線等を活 用した情報発信	県 県、名護市			

我部祖河川水系
流域治水プロジェクト

【凡例】



破線：事業中、取組中



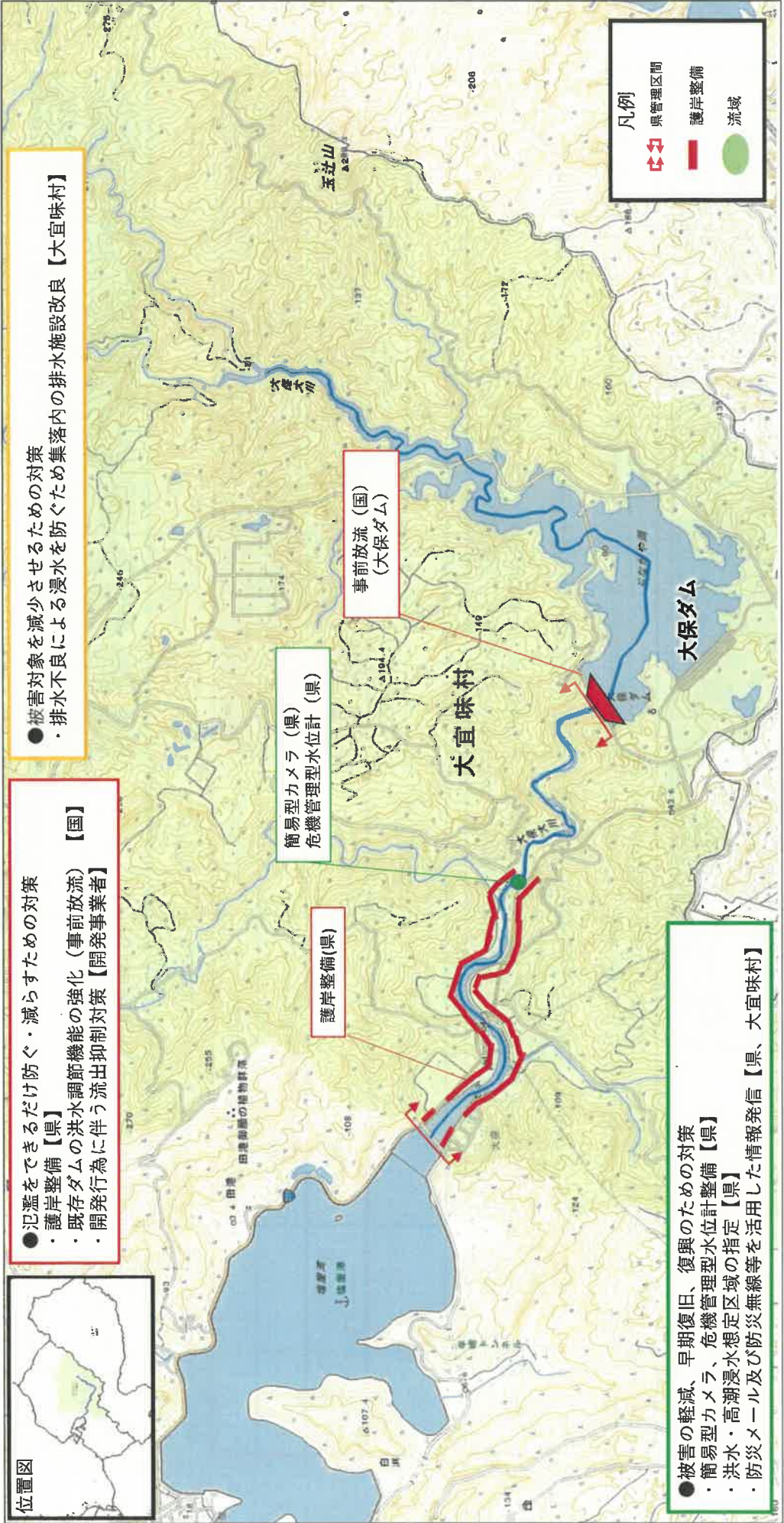
実線：維持管理、
フォローアップ等

浸水被害軽減・逃げ遅れゼロ

大保川水系流域治水プロジェクト (案)

二級水系
流域治水プロジェクト

○大保川は、沖縄本島北部の大宜見村に位置し、河口の平地部には集落が形成され、平成24年9月の台風17号においては、床上・床下の浸水被害が発生しているため、整備区間の計画洪水規模の出水に対する河川整備や避難のためのフロント対策等に取り組み、流域における浸水被害の軽減を図る。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

大保川水系流域治水プロジェクト

【ロードマップ・効果】(案)

沖縄県

二級水系
流域治水プロジェクト

大保川では、上下流の流域全体を俯瞰し、県、村、住民や民間企業等が一体となって、以下により「流域治水」を推進する。
【短期・中期】 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策では、既存ダムの洪水調節機能の強化に伴う事前放流、護岸整備の河川改修を集中的に実施。
 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では、簡易型カメラ、危機管理型水位計の整備及び防災メーラ及び防災無線等を活用した情報発信による防災体制の強化を図る。
【中長期】 河川改修後の河道状況を把握し堆積土砂除去を行うなど、各施設において適切な維持管理を実施。
 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では毎年フォローアップを実施し、防災体制の改善・強化に繋げていく。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期 (概ね5年間)	中期 (概ね10~15年間)	中長期 (概ね20~30年間)
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	<ul style="list-style-type: none"> 護岸整備 既存ダムの洪水調節機能の強化 (事前放流) 開発行為に伴う流出抑制対策 	県			
被害対象を減少させるための対策	<ul style="list-style-type: none"> 排水不良による浸水を防ぐため集落内の排水施設改良 	開発事業者 大宜味村			
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策	<ul style="list-style-type: none"> 簡易型カメラ、危機管理型水位計の整備 洪水・高潮浸水想定区域の指定 防災メーラ及び防災無線等を活用した情報発信 	県 大宜味村			

大保川水系
流域治水プロジェクト

【凡例】

破線：事業中、取組中

実線：維持管理、フォローアップ等

浸水被害軽減・逃げ遅れゼロ

億首川水系流域治水プロジェクト（案）

二級水系
流域治水プロジェクト

○億首川は、沖縄本島中央部の金武町に位置し、上流部の喜瀬武原地区において、床上・床下浸水、田畑冠水、県道104号線の冠水等の被害が発生しているため、整備区間の計画洪水規模の出水に対する河川整備や避難のためのソフト対策等に取り組み、流域における浸水被害の軽減を図る。



凡例

- ⇄ 県管理区間
- 護岸整備
- 流域

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- ・護岸整備【県】
- ・既存ダムの洪水調節機能の強化（事前放流）【国】
- ・開発行為に伴う流出抑制対策【開発事業者】

- 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
- ・危機管理型水位計、簡易型カメラ整備【県】
- ・洪水・高潮浸水想定区域の指定【県】
- ・防災メーリング及び防災無線等を活用した情報発信【県、金武町、恩納村】

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

二級水系
流域治水プロジェクト

億首川水系流域治水プロジェクト
【ロードマップ・効果】(案)

沖縄県

億首川では、上下流の流域全体を俯瞰し、県、町村、住民や民間企業等が一体となって、以下により「流域治水」を推進する。
【短期・中期】 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策では、既存ダムの洪水調節機能の強化に伴う事前放流、護岸整備等の河川改修を集中的に実施。

被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では、簡易型カメラ、危機管理型水位計の整備及び防災メール及び防災無線等を活用した情報発信による防災体制の強化を図る。

【中長期】 河川改修後の河道状況を把握し堆積土砂除去を行うなど、各施設において適切な維持管理を実施し、防災体制の改善・強化に繋げていく。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期 (概ね5年間)	中期 (概ね10~15年間)	中長期 (概ね20~30年間)
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	<ul style="list-style-type: none"> ・護岸整備 ・既存ダムの洪水調節機能の強化 (事前放流) 	県			
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策	<ul style="list-style-type: none"> ・開発行為に伴う流出抑制対策 	開発事業者			
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理型水位計、簡易型カメラ整備 ・洪水・高潮浸水想定区域の指定 	県			
	<ul style="list-style-type: none"> ・防災メール及び防災無線等を活用した情報発信 	県 金武町、恩納村			

億首川水系
流域治水プロジェクト

【凡例】



破線：事業中、取組中



実線：維持管理、フォローアップ等

浸水被害軽減・逃げ遅れゼロ

天願川水系流域治水プロジェクト (案)

二級水系
流域治水プロジェクト

○過去に豪雨や台風により河川の氾濫が発生しており、近年においては、平成29年6月、令和元年6月の集中豪雨で床上・床下浸水などの甚大な被害を受けたことを踏まえ、安全に流下させる河道整備を実施し、浸水被害の軽減を図る。以下の取り組みを実施していくことで、計画規模の出水に対する河川整備や避難のためのソフト対策等に取り組む、流域における浸水被害の軽減を図る。



- 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
 - ・ハザードマップの作成【うるま市、沖繩市】
 - ・マイ・タイムラインの作成等【うるま市、沖繩市】
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進【うるま市、沖繩市】
 - ・水位計、河川監視カメラ等整備【県】
 - ・洪水・高潮浸水想定区域の指定【県】
 - ・防災メーリング及び防災無線等を活用した情報発信【県、うるま市、沖繩市】

- 被害対象を減少させるための対策
 - ・下水道等の排水施設・雨水貯留施設の整備【うるま市】

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
 - ・護岸整備、橋梁架替【県】
 - ・開発行為に伴う流出抑制対策【開発事業者】
 - ・樹木伐採、防草処理等【うるま市】

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

二級水系
流域治水プロジェクト

天願川水系流域治水プロジェクト
【ロードマップ・効果】（案）

沖縄県

天願川及び川崎川では、上下流の流域全体を俯瞰し、県、市、住民や民間企業等が一体となって、以下により「流域治水」を推進する。
【短期・中期】 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策では、護岸整備や橋梁架替等の河川改修を集中的に実施。
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では、マイタイムラインの作成等、要配慮者利用施設の避難確保計画の策定や避難訓練を促進するほか、河川監視カメラ、水位計等の整備による防災体制の強化を図る。

【中長期】 河川改修後の河道状況を把握し堆積土砂除去を行うなど、各施設において適切な維持管理を実施。
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では毎年フォローアップを実施し、防災体制の改善・強化に繋げていく。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期（概ね5年間）	中期（概ね10～15年間）	中長期（概ね20～30年間）
氾濫をできるだけ防 ぐ・減らすための対策	<ul style="list-style-type: none"> ・護岸整備、橋梁架替 ・開発行為に伴う流出抑制対策 ・樹木伐採、防草処理等 	県 開発事業者 うるま市			
被害対象を減少させる ための対策	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道等の排水施設・雨水貯留施設の整備 	うるま市			
被害の軽減、早期復旧、 復興のための対策	<ul style="list-style-type: none"> ・河川監視カメラ、水位計等整備 ・洪水・高潮浸水想定区域の指定 ・ハザードマップの作成 ・マイタイムラインの作成等 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進 	県 うるま市 沖縄市			
	<ul style="list-style-type: none"> ・防災メール及び防災無線等を活用した情報発信 	県、うるま市、 沖縄市			

天願川水系
流域治水プロジェクト

浸水被害軽減・逃げ遅れゼロ

【凡例】

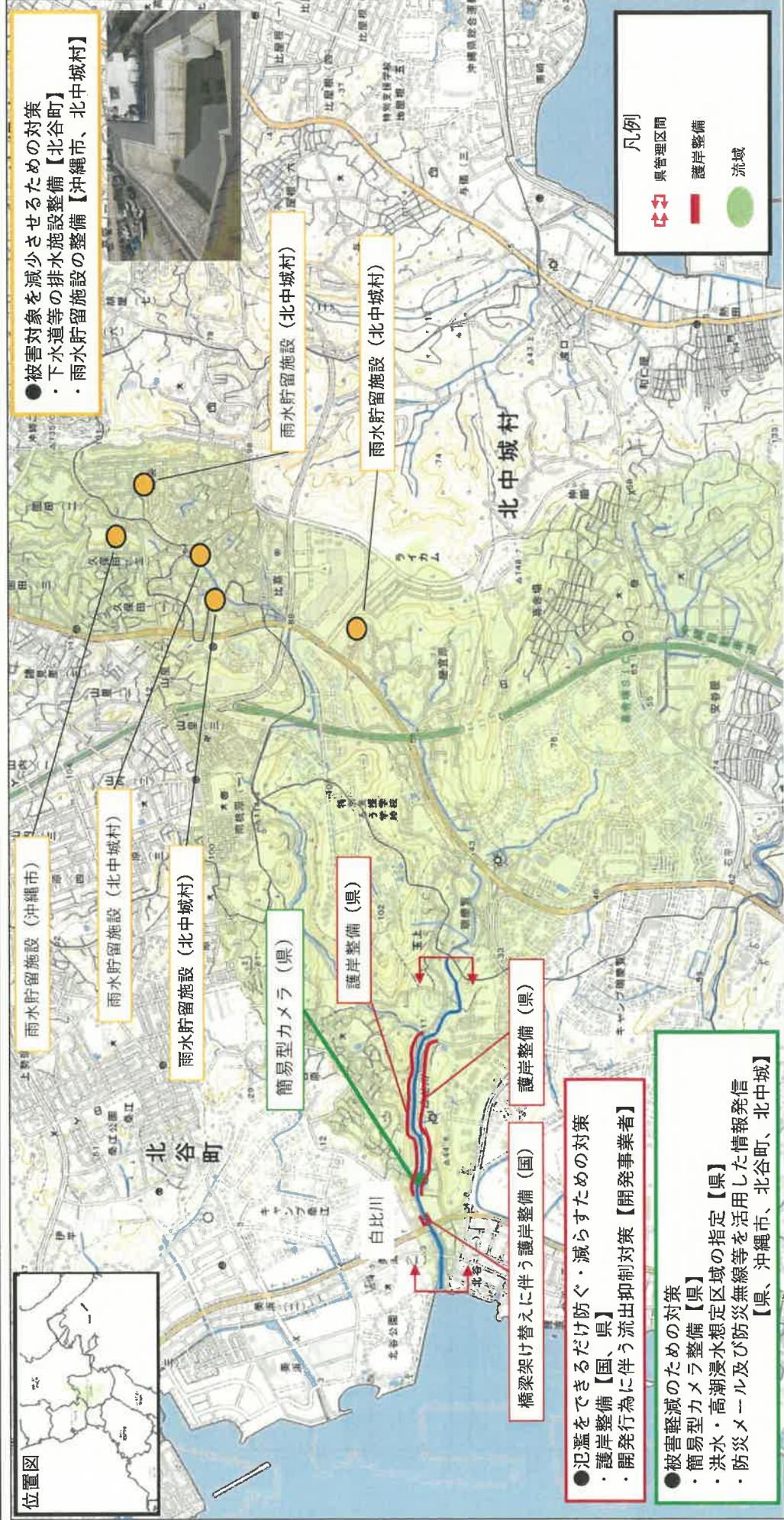


破線：事業中、取組中
実線：維持管理、
フォローアップ等

白比川水系流域治水プロジェクト（案）

二級水系
流域治水プロジェクト

○白比川について、過去に豪雨や台風により河川の氾濫が発生しており、近年においては、令和元年11月台風による家屋浸水などの被害を受けたことを踏まえ、安全に流下させる河道整備を実施し、浸水被害の軽減を早期に行う必要がある。以下の取り組みを実施していくことで、計画規模の出水に対する河川整備や避難のためのソフト対策等に取り組み、流域における浸水被害の軽減を図る。



※具体内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

二級水系
流域治水プロジェクト

白比川水系流域治水プロジェクト
【ロードマップ・効果】（案）

沖縄県

白比川では、上下流の流域全体を俯瞰し、県、市町村、住民や民間企業等が一体となって、以下により「流域治水」を推進する。

【短期・中期】 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策では、護岸整備の河川改修を集中的に実施。
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では、簡易型カメラ整備及び防災無線等を活用した情報発信による防災体制の強化を図る。

【中長期】 河川改修後の河道状況を把握し堆積土砂除去を行うなど、各施設において適切な維持管理を実施。
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では毎年フォローアップを実施し、防災体制の改善・強化に繋げていく。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期（概ね5年間）	中期（概ね10～15年間）	中長期（概ね20～30年間）
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	<ul style="list-style-type: none"> ・護岸整備 ・開発行為に伴う流出抑制対策 	国、県 開発事業者			
被害対象を減少させるための対策	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道等の排水施設整備 ・雨水貯留施設の整備 	北谷町 沖縄市 北中城村			
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易型カメラ整備 ・洪水・高潮浸水想定区域の指定 ・防災メール及び防災無線等を活用した情報発信 	県 県、沖縄市 北谷町、北中城村			

白比川水系
流域治水プロジェクト

【凡例】

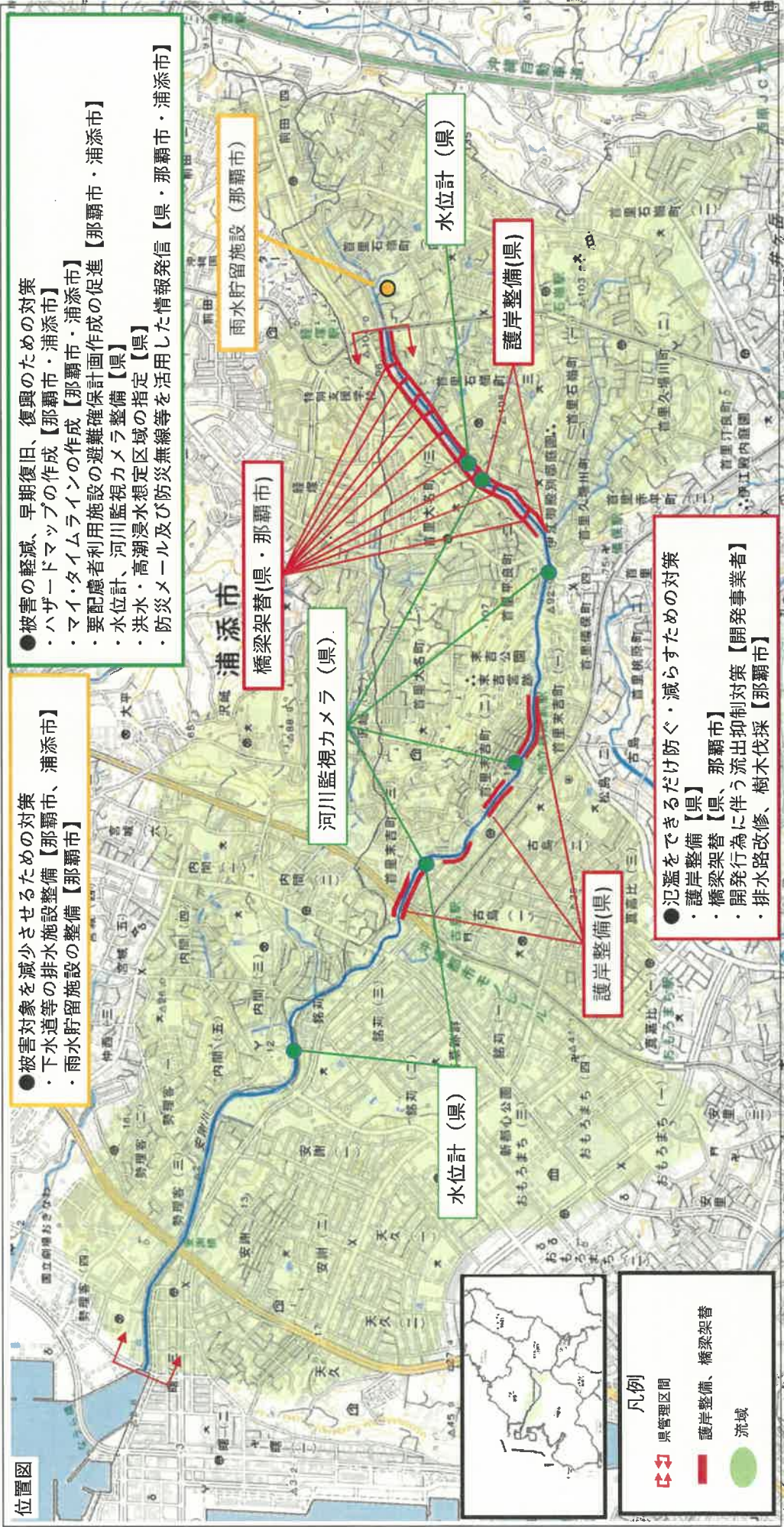
破線：事業中、取組中
実線：維持管理、フォローアップ等

浸水被害軽減・逃げ遅れゼロ

安謝川水系流域治水プロジェクト(案)

二級水系
流域治水プロジェクト

○2級河川安謝川は、中流部～上流部の未整備区間において、現況河川が狭小であることから、度々床上・床下浸水の被害(近年:平成10年、11年、12年)が発生しているため、整備区間の計画洪水規模の出水に対する河川整備や避難のためのソフト対策等に取り組み、流域における浸水被害の軽減を図る。



- 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
- ・ハザードマップの作成【那覇市・浦添市】
- ・マイ・タイムラインの作成【那覇市・浦添市】
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進【那覇市・浦添市】
- ・水位計、河川監視カメラ整備【県】
- ・洪水・高潮浸水想定区域の指定【県】
- ・防災メール及び防災無線等を活用した情報発信【県・那覇市・浦添市】

- 被害対象を減少させるための対策
- ・下水道等の排水施設整備【那覇市、浦添市】
- ・雨水貯留施設の整備【那覇市】

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- ・護岸整備【県】
- ・橋梁架替【県、那覇市】
- ・開発行為に伴う流出抑制対策【開発事業者】
- ・排水路改修、樹木伐採【那覇市】

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

二級水系
流域治水プロジェクト

安謝川水系流域治水プロジェクト
【ロードマップ・効果】(案)

沖縄県

安謝川では、上下流の流域全体を俯瞰し、県、市、住民や民間企業等が一体となって、以下により「流域治水」を推進する。
【短期・中期】 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策では、護岸整備や橋梁架替等の河川改修を集中的に実施。
被雪の軽減、早期復旧、復興のための対策では、マイタイムラインの作成等、要配慮者利用施設の避難確保計画の策定や避難訓練を促進するほか、水位計、河川監視カメラ整備による防災体制の強化を図る。

【中長期】 河川改修後の河道状況を把握し堆積土砂除去を行うなど、各施設において適切な維持管理を実施。
被雪の軽減、早期復旧、復興のための対策では毎年フォロアアップを実施し、防災体制の改善・強化に繋げていく。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期 (概ね5年間)	中期 (概ね10~15年間)	中長期 (概ね20~30年間)
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	・護岸整備、橋梁架替	県、那覇市			
	・開発行為に伴う流出抑制対策	開発事業者			
	・排水路改修、樹木伐採	那覇市			
被害対象を減少させるための対策	・下水道等の排水施設整備	那覇市、浦添市			
	・雨水貯留施設の整備	那覇市			
被雪の軽減、早期復旧、復興のための対策	・水位計、河川監視カメラ整備 ・洪水・高潮浸水想定区域の指定	県			
	・ハザードマップの作成 ・マイタイムラインの作成等 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進	那覇市、浦添市			
	・防災メール及び防災無線等を活用した情報発信	県、那覇市、浦添市			

安謝川水系流域治水プロジェクト

【凡例】



破線：事業中、取組中
実線：維持管理、
フォローアップ等

浸水被害軽減・逃げ遅れゼロ

安里川水系流域治水プロジェクト (案)

二級水系
流域治水プロジェクト

○二級河川安里川は、中流～上流部の未整備区間において、現況河川が非常に狭小であることから度々床上・床下浸水の被害(近年、平成11.12.13.19)が発生しているため、整備区間の計画洪水規模の出水に対する河川整備や避難のためのソフト対策等に取り組み、流域における浸水被害の軽減を図る。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

二級水系
流域治水プロジェクト

安里川水系流域治水プロジェクト
【ロードマップ・効果】(案)

沖縄県

安里川水系では、上下流の流域全体を俯瞰し、県、市町、住民や民間企業等が一体となって、以下により「流域治水」を推進する。
 【短期・中期】 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策では、護岸整備、遊水池等の河川改修を集中的に実施。被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では、マイタイムラインの作成等、要配慮者利用施設の避難確保計画の策定や避難訓練を促進するほか、水位計、河川監視カメラ整備による防災体制の強化を図る。

【中長期】 河川改修後の河道状況を把握し堆積土砂除去を行うなど、各施設において適切な維持管理を実施。
 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では毎年フォローアップを実施し、防災体制の改善・強化に繋げていく。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期 (概ね5年間)	中期 (概ね10~15年間)	中長期 (概ね20~30年間)
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	<ul style="list-style-type: none"> 護岸整備、河道掘削、橋梁架替、遊水池・既存ダムの洪水調節機能の強化(事前放流) 	県 那覇市			
被害対象を減少させるための対策	<ul style="list-style-type: none"> 開発行為に伴う流出抑制対策 排水路改修、樹木伐採 下水道等の排水施設整備 	開発事業者 那覇市			
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策	<ul style="list-style-type: none"> 水位計、河川監視カメラ整備 洪水・高潮浸水想定区域の指定 ハザードマップの作成 マイタイムラインの作成等 要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進 防災メール及び防災無線等を活用した情報発信 	県 那覇市 南風原町 県、那覇市、南風原町			

安里川水系
流域治水プロジェクト

【凡例】



破線：事業中、取組中



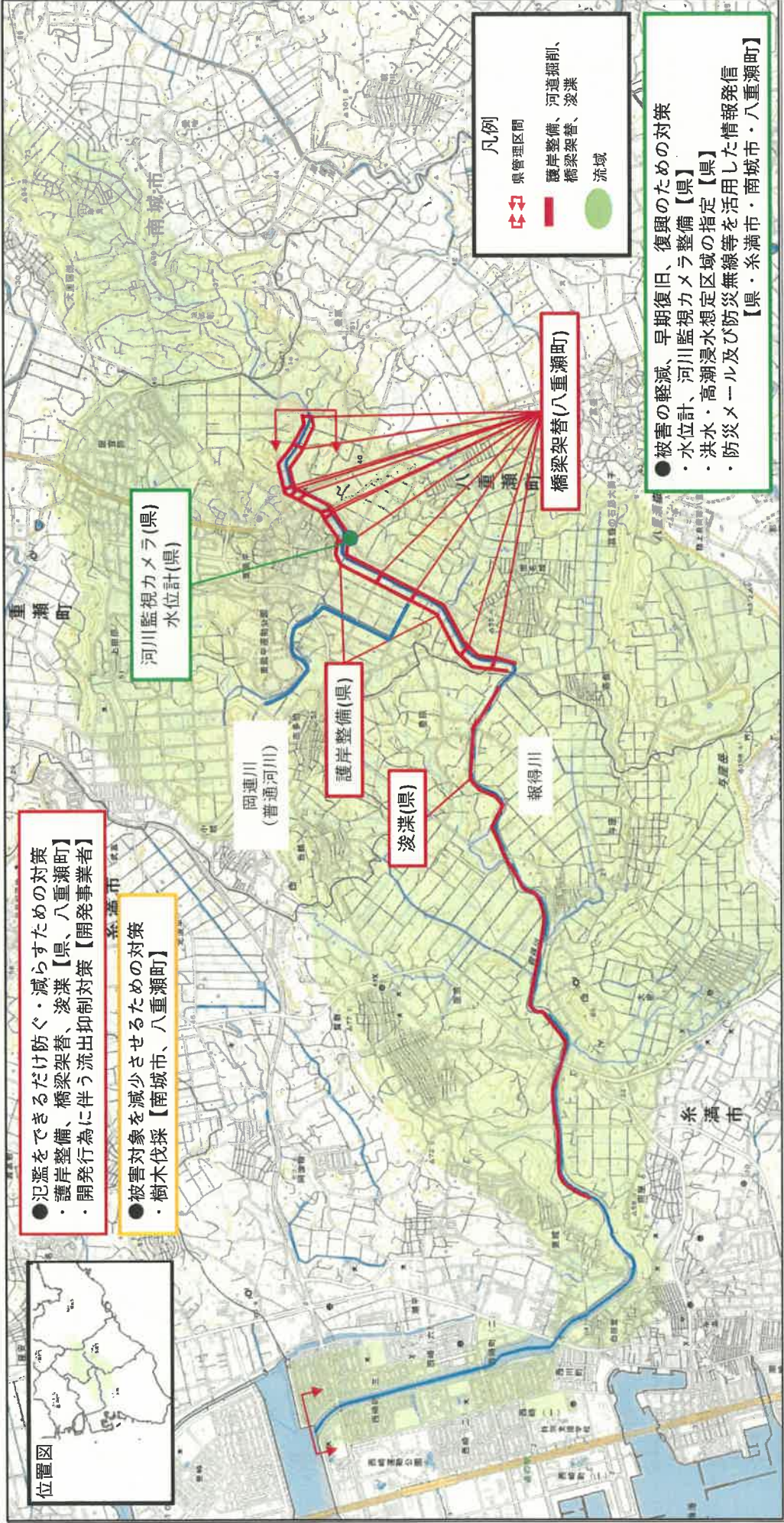
実線：維持管理、フォローアップ等

浸水被害軽減・逃げ遅れゼロ

報得川水系流域治水プロジェクト（案）

二級水系 流域治水プロジェクト

○二級河川報得川は、下流域の糸満市区間については、平成14年度までに整備済みである。八重瀬町区間である上流域は、灌漑事業により1/10年確率で整備されているが、開発が進んでいるため、降雨時、報得川への流出量が増大しており、平成19年に幼児の水難死亡事故が発生、平成23年には国道507号が冠水し、川沿いの中学校で生徒が避難する状況があったため、整備区間の計画洪水規模の出水に対する河川整備や避難のためのソフト対策等に取り組み、流域における浸水被害の軽減を図る。



● 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
 ・護岸整備、橋梁架替、浚渫【県、八重瀬町】
 ・開発行為に伴う流出抑制対策【開発事業者】

● 被害対象を減少させるための対策
 ・樹木伐採【南城市、八重瀬町】

● 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
 ・水位計、河川監視カメラ整備【県】
 ・洪水・高潮浸水想定区域の指定【県】
 ・防災メーリングル及び防災無線等を活用した情報発信
 【県・糸満市・南城市・八重瀬町】

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

報得川水系流域治水プロジェクト 【ロードマップ・効果】(案)

二級水系 流域治水プロジェクト

沖縄県

報得川では、上下流の流域全体を俯瞰し、県、市町、住民や民間企業等が一体となって、以下により「流域治水」を推進する。
【短期・中期】 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策では、護岸整備や橋梁架替等の河川改修を集中的に実施。被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では、水位計、河川監視カメラの整備や防災メール及び防災無線等を活用した情報発信による防災体制の強化を図る。

【中長期】 河川改修後の河道状況を把握し堆積土砂除去を行うなど、各施設において適切な維持管理を実施。被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では毎年フォローアップを実施し、防災体制の改善・強化に繋げていく。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期 (概ね5年間)	中期 (概ね10~15年間)	中長期 (概ね20~30年間)
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	・護岸整備、橋梁架替、浚渫	県、八重瀬町			
被害対象を減少させるための対策	・開発行為に伴う流出抑制対策 ・樹木伐採	開発事業者 南城市、八重瀬町			
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策	・水位計、河川監視カメラの整備 ・洪水・高潮浸水想定区域の指定 ・防災メール及び防災無線等を活用した情報発信	県 県、糸満市、南城市、八重瀬町			

報得川水系
流域治水プロジェクト

【凡例】



破線：事業中、取組中



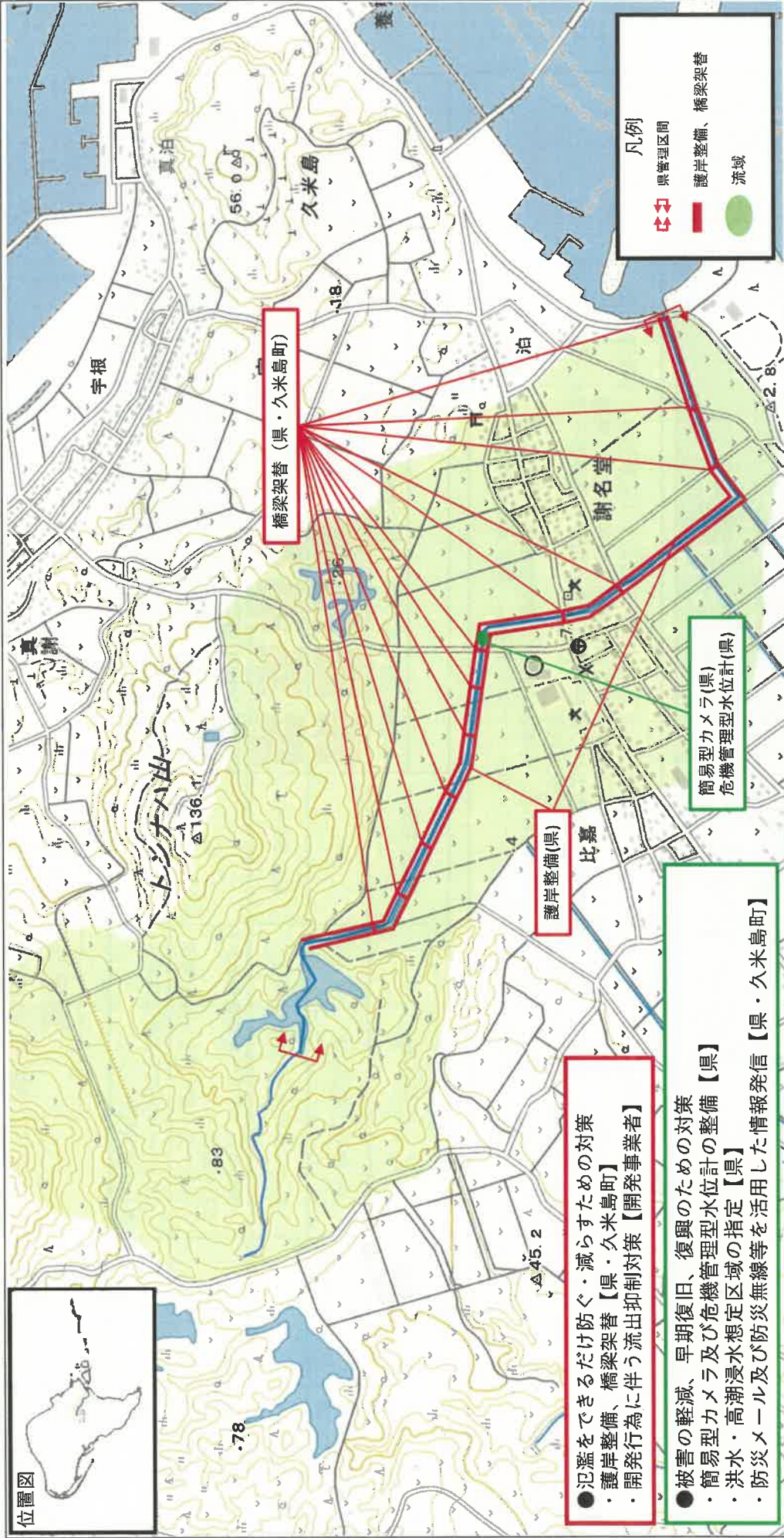
実線：維持管理、フォローアップ等

浸水被害軽減・逃げ遅れゼロ

謝名堂川水系流域治水プロジェクト (案)

二級水系
流域治水プロジェクト

○二級河川謝名堂川は、流域面積3.0km²、流路延長2.85kmの2級河川であり、周辺には役場や学校等の公共施設が位置している。現況河川の流下能力が小さいことから、台風や豪雨時に、宅地や道路の浸水被害が度々発生しているため、整備区間の計画洪水規模の出水に対する河川整備や避難のためのソフット対策等に取り組み、流域における浸水被害の軽減を図る。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

二級水系
流域治水プロジェクト

謝名堂川水系流域治水プロジェクト
【ロードマップ・効果】（案）

沖縄県

謝名堂川では、上下流の流域全体を俯瞰し、県、町、住民や民間企業等が一体となって、以下により「流域治水」を推進する。
【短期・中期】 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策では、護岸整備や橋梁架替等の河川改修を集中的に実施。

被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では、簡易型カメラ及び危機管理型水位計の整備するほか、防災メール及び防災無線等を活用した情報発信による防災体制の強化を図る。

【中長期】 河川改修後の河道状況を把握し堆積土砂除去を行うなど、各施設において適切な維持管理を実施。被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では毎年フォローアップを実施し、防災体制の改善・強化に繋げていく。

区分	実施主体	対策内容	工程		
			短期（概ね5年間）	中期（概ね10～15年間）	中長期（概ね20～30年間）
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	県	<ul style="list-style-type: none"> ・護岸整備、橋梁架替 ・開発行為に伴う流出抑制対策 			
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策	開発事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易型カメラ及び危機管理型水位計の整備 ・洪水・高潮浸水想定区域の指定 			
	県	<ul style="list-style-type: none"> ・防災メール及び防災無線等を活用した情報発信 			
	県、久米島町				

謝名堂川水系
流域治水プロジェクト

浸水被害軽減・逃げ遅れゼロ

【凡例】



破線：事業中、取組中

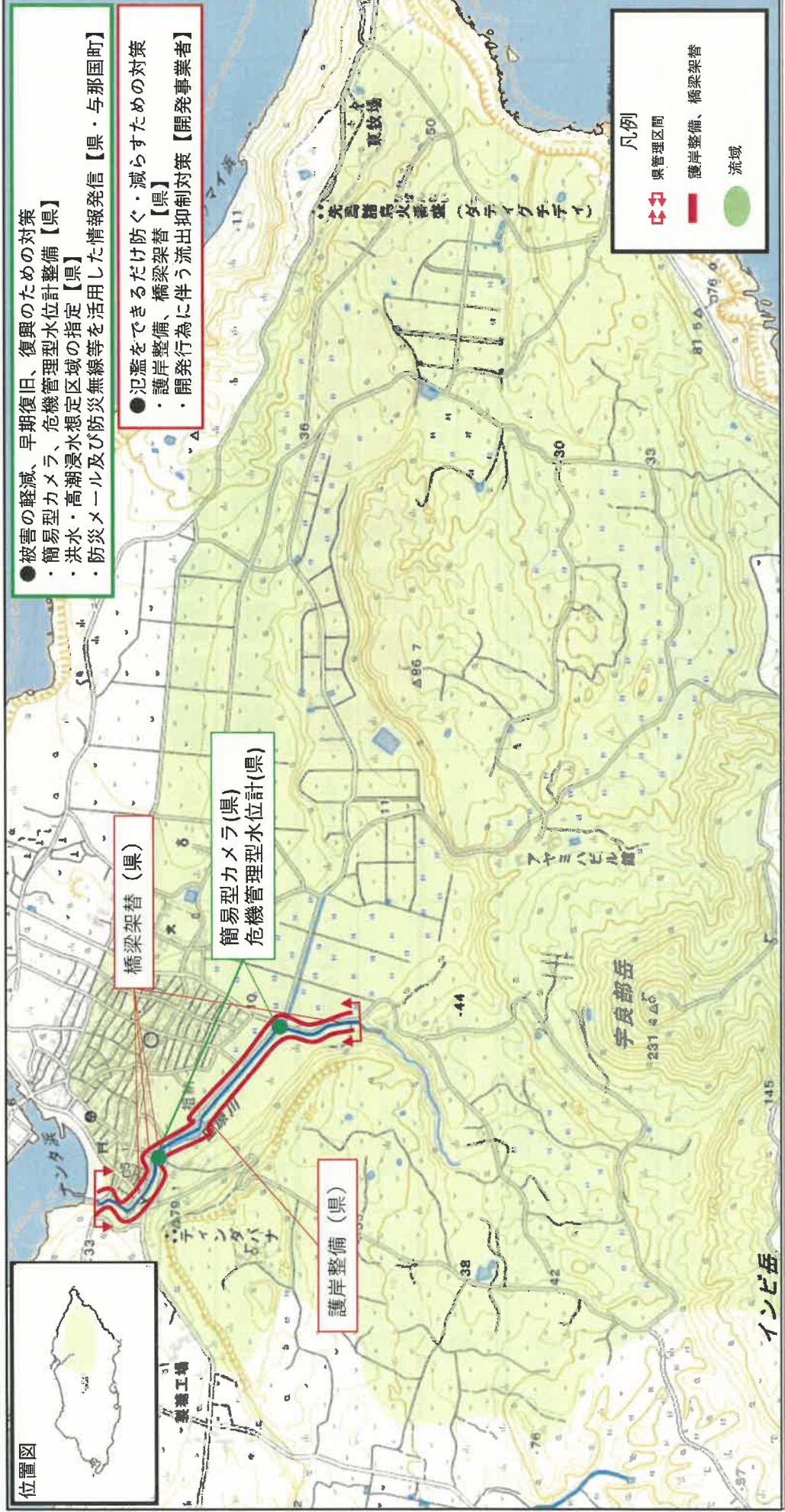


実線：維持管理、フォローアップ等

田原川水系流域治水プロジェクト（案）

二級水系
流域治水プロジェクト

○二級河川田原川では、平成20年9月台風による家屋浸水、平成27年4月豪雨による道路冠水、近年においては令和元年5月豪雨による家屋浸水などの被害が発生しているため、整備区間の計画洪水規模の出水に対する河川整備や避難のためのソフト対策等に取り組み、流域における浸水被害の軽減を図る。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

二級水系
流域治水プロジェクト

田原川水系流域治水プロジェクト
【ロードマップ・効果】(案)

沖縄県

田原川では、上下流の流域全体を俯瞰し、県、町、住民や民間企業等が一体となって、以下により「流域治水」を推進する。
【短期・中期】 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策では、護岸整備や橋梁架替等の河川改修を集中的に実施。

被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では、簡易型カメラ、危機管理型水位計整備するほか、防災メール及び
防災無線等を活用した情報発信による防災体制の強化を図る。

【中長期】 河川改修後の河道状況を把握し堆積土砂除去を行うなど、各施設において適切な維持管理を実施。
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では毎年フォローアップを実施し、防災体制の改善・強化に繋げていく。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期 (概ね5年間)	中期 (概ね10~15年間)	中長期 (概ね20~30年間)
氾濫をできるだけ防 ぐ・減らすための対策	・護岸整備、橋梁架替	県			
	・開発行為に伴う流出抑制対策	開発事業者			
被害の軽減、早期復旧、 復興のための対策	・簡易型カメラ、危機管理型水位計の整備 ・洪水・高潮浸水想定区域の指定	県			
	・防災メール及び防災無線等を 活用した情報発信	県・与那国町			

田原川水系
流域治水プロジェクト

【凡例】



破線：事業中、取組中

実線：維持管理、
フォローアップ等

浸水被害軽減・逃げ遅れゼロ